

ノヤマ通信

vol.41 (2026.睦月)



森のようちえんヒュッテ

【12月の活動記録：4日みかん狩り（明浜）、11日おもちつき、15日山の基地、22日山の基地】

●活動を見つめるコラム

「みかん狩りに行ってきました」

先月、明浜の「ぼちぼち農園」さんを訪れ、みかん狩りを体験させていただきました。みかんを運ぶモノレールに沿って段々畑を登り、斜面に広がるみかん畑へ。とても寒い日だったので、はじめは体が縮こまっていたのですが、収穫を始めると、少しずつ体がほぐれていく感じがしました🍊

今回の収穫体験は、子どもにとって「自分でやってみる」「自分で決める」という体験の機会だったと言えます（もちろん、発達段階にもよりますが）。たくさん実っているみかんの中で、どれを取るかということは、一種の「選択」です。目に入ったものから次々取るのと、どれがおいしそうかをよく考えながら取るのでは、体験の質は異なってきます。そういう意味では、周囲にいる大人がどんな声かけをするか、ということでも体験の意味合いが違ってきます。

とはいえ、愛媛に住んでいるからといって、大人でもみかん狩りの経験が豊富とは限りません。初めてみかん狩りをした、という方もいたかもしれません。ただ、実際に体験してみると「低いところの実を取るのには、体勢がしんどいな」とか、「畑と畑の段差はけっこうあるんだな」とか、何かしら発見があるものです。子どもに何かを教えようとするよりも、自分が気づいたことを子どもと共有したり、子どもの発見を面白がったりしながら、一緒に活動を楽しむ。それだけで十分なのだと思います😊

素敵な体験の場を提供していただいたぼちぼち農園さん、ありがとうございました！（ゆ）



▲12/11森のようちえん：おもちつき（山の基地）

👤👤 山の基地

【12月の活動記録：12/7、27…開放日】

●冬に入り、たき火が楽しい季節になりました。開放日にはたき火を使って調理をする人が増えています。小屋にはカセットコンロや七輪など調理に使える道具もいろいろありますよ～。



●27日の開放日は、希望者と門松づくりを行いました。親子で協力して竹を切り、里山の彩りを活かした、素敵な門松ができました！😊



🌸🌸 その他の活動

●地域団体向けの講演（12/7）

西日本豪雨で被害を受けた山の再生に取り組む「森林内荒廃地復旧・体験プロジェクト」に声をかけていただき、『いま、山と人との関係性を考える』というテーマで1時間ほど講演してきました。

現在、山や森はさまざまな課題を抱えています。多くの方が地域の山に目を向けなくなっていると感じています。こうした状況を変えていくためには、山と人との距離を近づけるきっかけづくりが大

事。大きなことではなくても、できることから少しずつ。そんなメッセージで講演を締めくくりました。

●だいちのめ第9号の取材

四国西予ジオパークのフリーマガジン『だいちのめ』の取材も進めています。次号の特集テーマは「水」。西予市には肱川の源流があり、私たちのまちの下流ではたくさんの方が暮らしています。暮らしに欠かせない水どう向き合っていくのか、考えていきたいと思っています🌍。

●氷室（ひむろ）の調査に同行（12/20）

南予地方の氷室（天然の氷を貯蔵するため、山の中につくられた“自然の冷蔵庫”）の研究をされている大学の先生と宇和島山岳会の方をおつなぎして、一緒に宇和島市の権現山へ行きました。

今回の山行は、つららを大量につくるために地元の人が山に設置していた「氷棚」を見つけるのが目的でした。少し迷いましたが、無事に発見でき、調査に貢献することができました。



●えひめ自然保育連盟のイベント（12/21）

えひめ自然保育連盟のメンバーで「えひめこども自然フェスタ2025」を開催しました。クラウドファンディングで多くの方からご支援をいただいて制作したドキュメンタリー映画『森のかんばせ』は、愛媛県内にある、タイプの異なる5つの森のようちえんを紹介する作品になりました。

3月には、西予市内で『森のかんばせ』の上映と、子どもが育つ環境について考える会を開催する予定です！お楽しみに😊



映画のおひろめとセットで開催した、（一社）ジェイスの武田信子さんの講演会では、幼児期の子どもにとって「環境」がいかに大切か、そして、その環境をつくっている私たち大人や社会のあり方が「社会的マルトリートメント」と呼ぶべき状況に陥っていないか、という問題提起がなされました。

社会的マルトリートメントとは、社会の価値観や習慣によって、子どもをはじめとする社会的弱者のウェルビーイングが阻害されてしまう状況を指す概念です。育児を楽にするためにつくられた製品やサービス

が、実は子どもの健やかな成長を損なっているのではないかとその背景には、経済至上主義という価値観があるのではないかとそうした問いかけに強く心をゆさぶられました。



🐼 よもやま話

●先日、ずっと欲しかった万歩計を購入しました。フジロックに行く友人が持参する荷物としてSNSで紹介しているのを見て、気になっていたのです。この万歩計には、伊能忠敬先生指導の下、歩きながら日本地図を作れるという機能があります。歩いた距離がどんどん積算されていき、自分が今日本のどこを歩いているかも分かるんです。夫には万歩計ってスマホの機能にもあるやろ？と言われたけれど、華麗にスルーし、買ってよかった（笑）



スタートは東京で、まだ千葉までもたどり着けていませんが、今年も子どもたちとしっかり体を動かしながら、コツコツ日本地図を作っていきたいと思っています。（ち）

●時々、子育てのおすすめ本ってありますか？と聞いていただくことがあります。本を読むことは大好きなのですが、振り返ってみると、そういえば自分は、「子育て」というキーワードではあまり本を読んでこなかったことに気づきました。どちらかというと、その時々興味で読んだ本に書いてある内容について、これって子育てにも参考になるなあと思うことが多いです。小説、漫画、エッセイに関しても、ふいに子どもとのやりとりや子育てに関するエピソードが出てきたりして、なるほど...と思うことが少なくないです。

全部は書ききれないのですが、面白かった本の感想をnoteに書いているので、良かったら覗いていただけたらうれしいです。（先日のえひめ自然保育連盟のイベントレポートについても書いています）みなさんのおすすめの本も、ぜひ教えてください！（ち）



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

noyama.company@gmail.com